

# 令和5年度技術・家庭科 《第1学年技術分野》年間指導計画

## 技術・家庭科 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し、創造しようとする実践的な態度を養う。

## 技術分野の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

| 月      | 単元名                    | 指導目標  | 指導内容  | 評価規準  | 評価資料                                |
|--------|------------------------|---|---|---|-------------------------------------|
| 4      | ガイダンス                  | 技術と生活、環境との関わりを考えさせる。  | ①技術と私たちの生活<br>②技術分野の学習  | 技術と生活の関係に気づき技術に役割に関心を示している。   |                                     |
| 5<br>6 | 材料と加工の技術<br>身の回りの製品の設計 | 技術が生活の向上と産業の発展に果たす役割を考える。<br>材料の特徴と利用方法を知る。<br>使用目的に即した製品の設計ができる。 | ①ものづくりの進め方<br>②様々な材料の特徴、材料と環境<br>③設計の進め方<br>④製品の目的と機能、構造<br>⑤材料と加工法<br>⑥構想のまとめと製図<br>⑦⑥-2製図<br>⑧⑥-3製図 | <p><b>知識・技能</b><br/>製作品の使用目的や使用条件に即して、適切な形状や寸法を決定している。<br/>製作品の構想をまとめることができ、図にかき表すことができる。<br/>木材、金属、プラスチックなどの材料の特徴と利用方法についての知識を身に付けている。<br/>製作における製作図の必要性についての知識を身に付けている。<br/>製作図の見方、かき方の知識を身に付けている。</p> <p><b>思考・判断・表現</b><br/>技術に関する課題を見だし、問題解決に向け考えることができる。</p> <p><b>主体的に学習に取り組む態度</b><br/>技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割や、技術の進展と環境との関係について関心を示している。<br/>技術に関する課題を見だし、問題解決に向け考えることができる。</p> | 生徒の活動状況<br>プリントの点検<br>小テスト<br>定期テスト |

|                          |                    |  |  |   |   |
|--------------------------|--------------------|--|--|---|---|
| 7<br>9<br>10<br>11<br>12 | 身の回りの製品の製作         | 加工法と工具、機器の安全な利用ができる。<br>工程表にそって製品の製作ができる。<br>安全に作業が進められる。        | ⑨部品表と製作工程表、製作の準備<br>⑩けがき<br>⑪⑩-2けがき<br>⑬切断<br>⑭⑬-2切断<br>⑮⑬-3切断<br>⑯⑩切削<br>⑰⑬-2切削<br>⑱⑬-3切削<br>⑳部品の検査、組み立て<br>㉑㉒-2部品の検査、組み立て<br>㉔接合、点検<br>㉕仕上げ<br>㉖㉕-2仕上げ | <b>主体的に学習に取り組む態度</b><br>環境や作業の安全に配慮して製作しようとしている。<br>常に正しい作業と作業効率を考え製作を進めている。<br><b>思考・判断・表現</b><br>加工に関する課題を明確にしなが製作を進め、適切な解決策を見出している。<br><b>知識・技能</b><br>製作図を基に、材料取り、部品加工、組立、仕上げができる。<br>材料にあった加工法や製作の進め方の知識を身に付けている。  | 生徒の活動状況<br>プリントの点検<br>作品<br>小テスト<br>定期テスト     |
| 5<br>6<br>7<br>8         | 生物育成の技術            | 生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知る。<br><br>目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培ができる。 | ①生物育成とは<br>②作物や家畜などの特性と生物育成技術<br>③栽培ごよみ<br>④環境要因<br>⑤生育の規則性と技術<br>⑥土づくり、肥料<br>⑦たねまき、育苗と植えつけ<br>⑧定植後の管理<br>⑨収穫の方法と保存、収穫後の管理<br>⑩栽培計画                      | <b>主体的に学習に取り組む態度</b><br>技術と生活の関係に気付き、技術の役割に関心を示している。<br><b>思考・判断・表現</b><br>環境に対する負荷の軽減や安全に配慮して栽培方法を検討しようとしている。<br>目的とする生物の育成に必要な条件を明確にし、社会的、環境的及び経済的側面などから、種類、資材、育成期間などを比較・検討した上で、目的とする生物の成長に適した管理作業などを決定している。<br><b>知識・技能</b><br>計画に基づき、適切な資材や用具を用いて、合理的な管理作業ができる。<br>光、大気、温度、水、土、他の生物などのいろいろな環境要因が生物の成長に与える影響についての知識を身に付けている。<br>生物の育成に適する条件と、育成環境を管理する方法についての知識を身に付けている。<br>育成する生物の各成長段階における肥料、飼料の給与量や方法をはじめとした管理作業、及びそれに必要な資材、用具、設備などについての知識を身に付けている。 | 生徒の活動状況<br>プリントの確認<br>栽培した作物<br>小テスト<br>定期テスト |
| 2<br>3                   | 材料と加工の技術<br>まとめと発表 | 製作に関する評価・活用ができる。<br>製作の効率を考えることができる                              | ㉕製作のまとめ<br>材料と加工の技術振り返り  | <b>主体的に学習に取り組む態度</b><br><b>思考・判断・表現</b><br>材料と加工の技術の課題を進んで見つけ、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに適切な解決策を示そうとしている。<br>材料と加工の技術の課題を進んで見つけ、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに適切な解決策を見出している。   | プリント点検<br>発表                                  |

※生物育成の技術と材料と加工の技術は、同時に行っていく。生物の状態、天候等を見て、授業を進めていく。